

平成26年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(AO入試)

小 論 文

(地域学部 地域環境学科)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は3ページ、解答用紙は4枚、下書用紙は4枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

淡水資源について述べた資料Aと資料Bを読んで、以下の設問に答えなさい。

- 問1 資料Aの下線部(1)および下線部(2)を日本語に訳しなさい。
- 問2 国土がせまく、人口密度が高く、水消費量が大きい日本において、なぜ「国土全体で見れば、水資源は十分にある[資料Bの下線部(3)]」と言えるのか？ その理由を自然環境と社会・経済条件の両面から100～200字で説明しなさい。
- 問3 日本における今後の水利用はどうあるべきか、資料A・資料Bをふまえて、あなたの考え方を600～800字で述べなさい。

資料A

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：Cooke G.D. et al. (2005) Restoration and management of lakes and reservoirs (Third Edition).
Boca Raton, France. [一部改変]

資料B

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典

文章：益田晴恵 [編] (2011) 都市の水資源と地下水の未来. 京都大学学術出版会 [一部改変]

図1：沖 大幹 (2012) 水危機 ほんとうの話. 新潮選書, 新潮社 [一部改変]